普及活動情勢報告（令和２年５月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ＪＡ高知県香美地区なす部会が勉強会を開催

5月12日、ＪＡ香美地区なす部会が勉強会を開催し、生産者19名が参加しました。当日はマスク着用やソーシャルディスタンスを徹底していました。

農業改良普及課は、31園芸年度に青枯病が多発したことから、太陽熱消毒（還元土壌消毒）や土壌くん蒸剤の使用方法、土づくりについての説明をしました。参加者から残渣処理について質問があり、①ハウス外へ残渣の持ち出し、②微生物資材処理、③太陽熱処理と併用したﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ剤の使用が必要なことを説明しました。

今後も個別巡回等を行い、対策を徹底していきます。

ユズ新規就農者の巡回指導

４月 28 日、ＪＡ香美地区物部柚子生産部会のユズ新規就農者４戸の園地を巡回し、春期管理について指導しました。

農業改良普及課は、ＪＡの営農指導員とともに、青果率の向上のために発芽期に重点防除が必要なそうか病、開花期の訪花害虫や黒点病に対して、適期防除などを指導しました。農家からは新型コロナウイルスの影響で講習会が中止になる中、「巡回で詳しく教えてくれてありがたい」との声も聞かれました。

今後は、巡回の他、栽培管理や地域の動きをまとめた「ゆず便り」を配布するなどで、新規就農者の経営安定に努めていきます。

オオバにおける害虫防除法の確立に向けて！　～天敵を活用した防除～

オオバは収穫期間中に使用できる農薬が少なく、害虫の防除に苦慮しています。農業改良普及課では、部会や資材メーカーと連携し、天敵を活用した害虫の防除試験に取り組んでいます。

今年度は、南国市のオオバ農家３戸で天敵のスワルスキーカブリダニを放飼し、天敵や害虫の発生状況の調査を行い、適切な防除方法の確立を目指しています。

農業改良普及課では、今後も天敵や微生物農薬を組み合わせ、IPM技術を活用したオオバにおける害虫防除方法を検討していきます。

シシトウ新規就農者の巡回指導

5月7日、南国市で昨年新規就農したシシトウ農家2戸を巡回指導しました。

農業改良普及課は、就農して初めての作が終わる時期になってきたことから、次作の資金操り計画の必要性について説明しました。

支払いが必要な経費や今後入ってくる予定の売上などの把握の仕方を説明し、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、次作に備えていけるよう、今後も支援していきます。

管内の集落営農法人「㈱ながおか」がスマート農機で田植えを行いました!!

南国市内の「㈱ながおか」が、4月にメーカー担当者を招き、GPS付き田植機で直進アシスト等の機能を使って田植えを行いました。

農業改良普及課は市と連携して省力化機械の導入を支援しました。

今後も預かる農地が増える見込みで、効率的・安定的に作業が行えるように、オペレーターの操作技術の向上等も重要になってきます。

引き続き関係機関と協力して、法人のビジョン達成に向けて、栽培及び経営改善支援等を行っていきます。